伏目海岸の池田火砕流堆積物と噴気帯

【所　　在　　地】指宿市山川福元3339-2の一部及び海岸
【種　　　　別】県指定天然記念物
【指定年月日】平成２６年４月２２日

伏目海岸

伏目海岸の噴気帯

指宿市山川の伏目海岸は，高さ30メートルの断崖が約４キロメートル続く弓なりの海岸の向こうに開聞岳がそびえる素晴らしい景観を作り出している。

断崖は約6,300年前に現在の池田湖から噴出した火砕流堆積物（池田火砕流堆積物）からなる。池田火砕流堆積物は，池田カルデラ形成過程の一連の噴火活動の最大の噴出物で，阿多カルデラ内の低地部のほとんどを埋め尽くし，その上面の平坦のほとんどが畑に，一部が住宅地に使われている。伏目海岸では，90～100メートルほどの層厚をもつ一連の噴出物のうち上部が露出しており，池田火砕流堆積物の規模や堆積様式を知ることのできる火山防災教育の教材として貴重である。

また，伏目海岸の波打ち際の砂浜では，高温の温泉と噴気が吹き上がる，県内で唯一の珍しい現象を観察することができる。大地が生きていることを知る貴重な教材である。